

総合評価落札方式（実施方針確認型）の試行について



平成23年12月21日
関東地方整備局 企画部 技術管理課

平成23年度上半期の低入札の発生状況(土木コン、測量、地質)

総合評価落札方式においては、履行確実性評価の導入により、1,000万円を超える業務においては低入札が激減した。
 履行確実性評価の対象外の1,000万円以下の業務では依然低入札が発生している。
 価格競争方式においては、依然高い発生率で低入札が頻発している。

予定価格	総合評価落札方式	価格競争入札方式
10,000千円	発注件数:489件 低入件数: 2件 低入発生率:0.4% 履行確実性評価対象	発注件数:130件 低入件数: 82件 低入発生率:63% 履行確実性評価対象外
1,000千円	発注件数: 39件 低入件数: 7件 低入発生率:18% 履行確実性評価対象外	発注件数: 68件 低入件数: 36件 低入発生率:53% 履行確実性評価対象外

※データはH23上半期の3業種(土木コン、測量、地質)

1

平成23年度上半期の低入札の発生状況(補償コン)

総合評価落札方式においては、履行確実性評価の導入により、1,000万円を超える業務においては低入札が激減した。
 履行確実性評価の対象外の1,000万円以下の業務では依然低入札が発生している。
 価格競争方式においては、依然高い発生率で低入札が頻発している。

予定価格	総合評価落札方式	価格競争入札方式
10,000千円	発注件数:85件 低入件数: 0件 低入発生率:0% 履行確実性評価対象	発注件数:4件 低入件数:4件 低入発生率:100% 履行確実性評価対象外
1,000千円	発注件数: 6件 低入件数: 1件 低入発生率:17% 履行確実性評価対象外	発注件数:8件 低入件数:4件 低入発生率:50% 履行確実性評価対象外

※データはH23上半期発注の補償コンサルタント業務

2

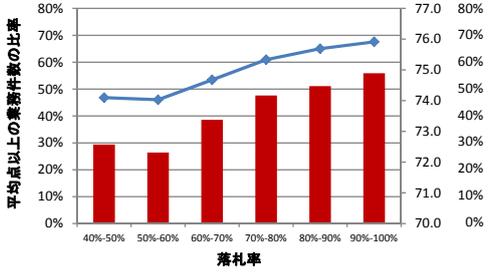
平成22年度 落札率別の成績評定点比率

業種別 評定点の比率(平成22年度業務)

■ 当該業務の平均点以上の業務数比率
● 落札率別の平均点

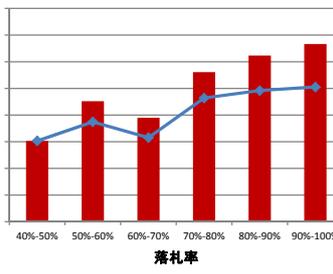
<土木>

落札率別 平均評定点以上の業務比率
(価格競争+総合評価+プロポ)
土木 平均75.6点



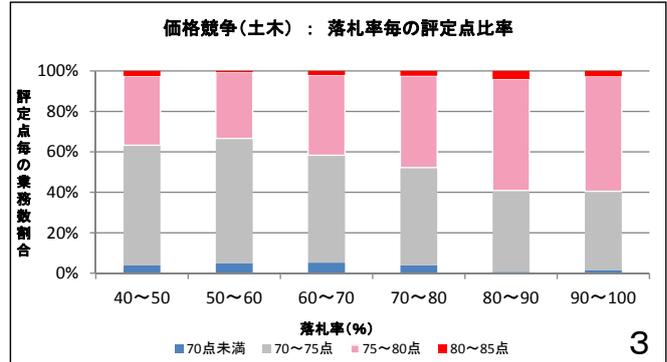
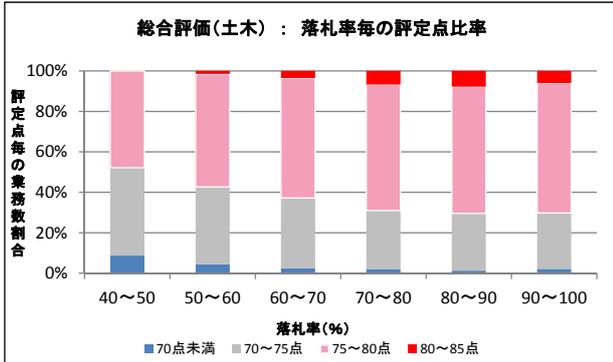
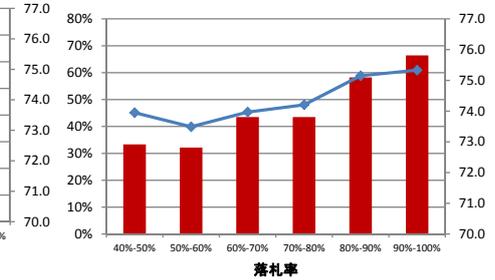
<測量>

落札率別 平均評定点以上の業務比率
(価格競争+総合評価+プロポ)
測量 平均74.0点



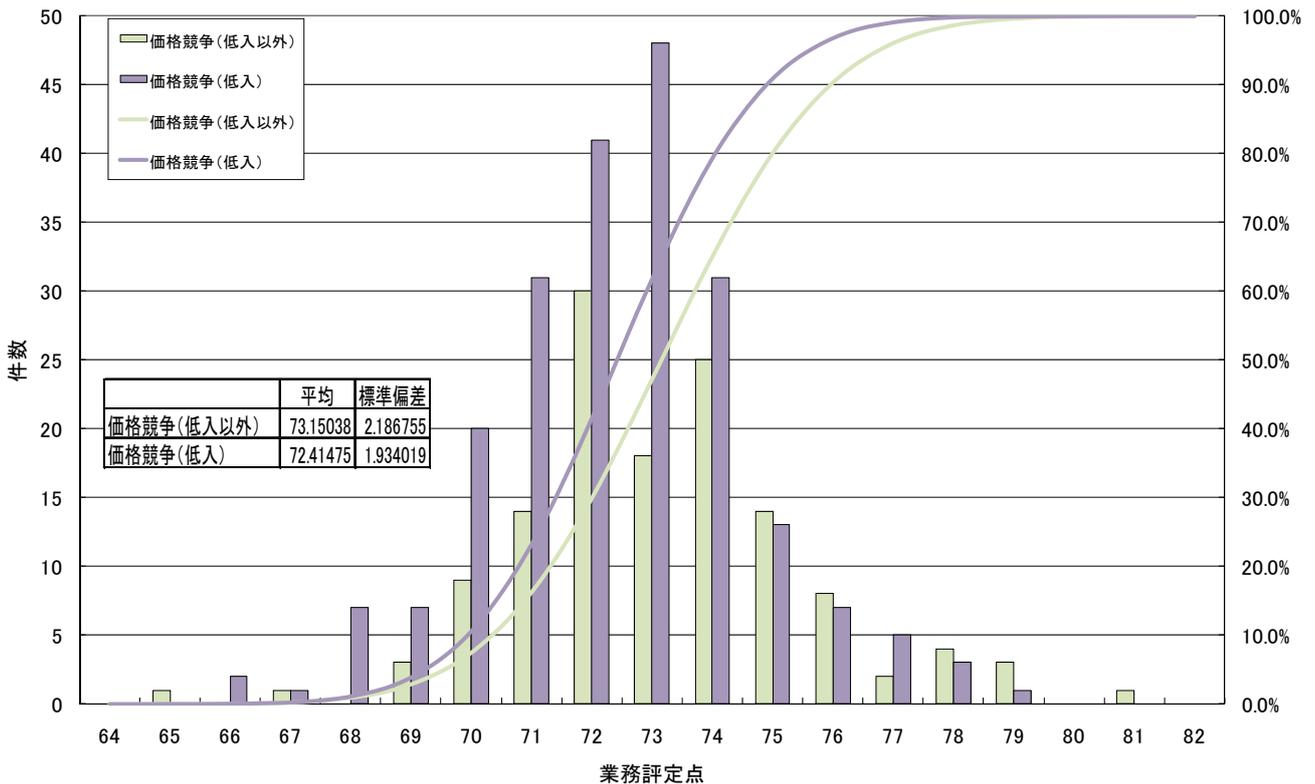
<地質>

落札率別 平均評定点以上の業務比率
(価格競争+総合評価+プロポ)
地質 平均74.8点



3

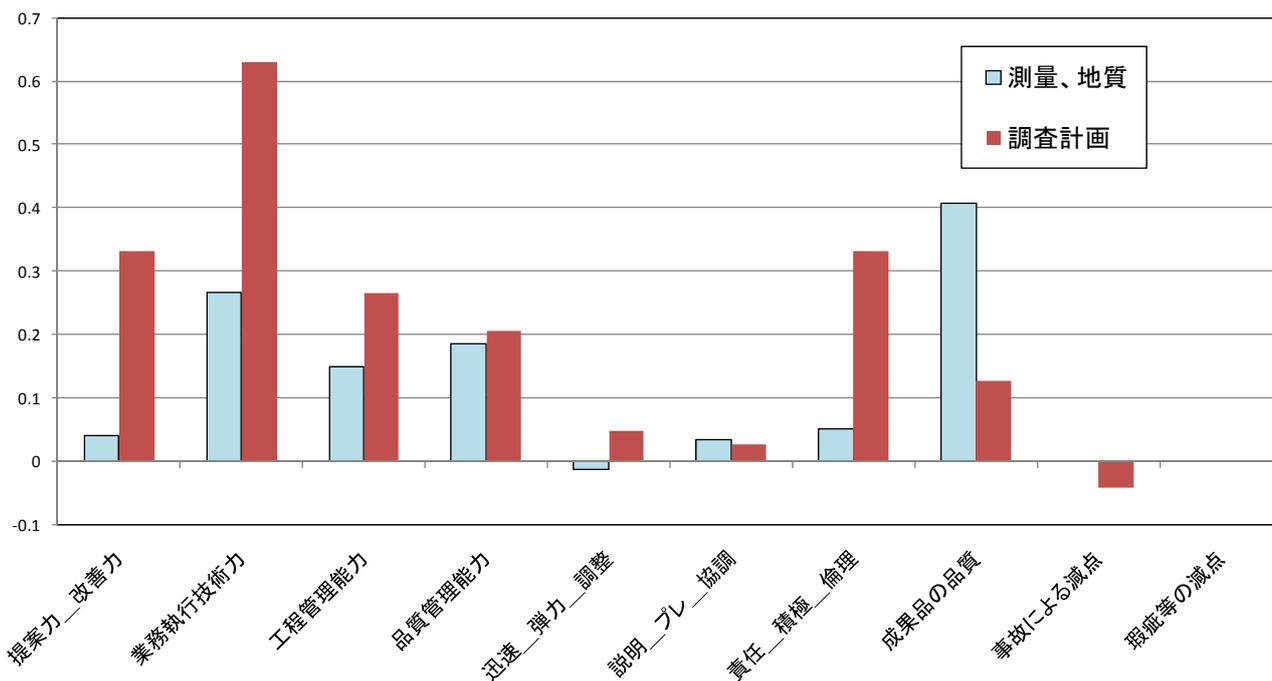
平成22年度価格競争入札における業務成績評点の比較



4

平成22年度業務成績の項目別評価点

業務成績の項目別評価点
低入業務と低入以外業務の点差



※平成22年度に契約した業務のうち平成22年度に完成した業務のうち総合評価落札方式及び価格競争方式で実施した業務の平均値

低入札業務の品質確保対策について(案)

低入札業務と低入札以外の業務の比較

- 低入札業務は低入札以外の業務に比べ業務成績評点の平均点が低い。
- 評価項目別で見ると、業務執行技術力、工程管理能力、品質管理能力、成果品の品質で低入札業務と低入札以外の業務で差がついている。

まとめ

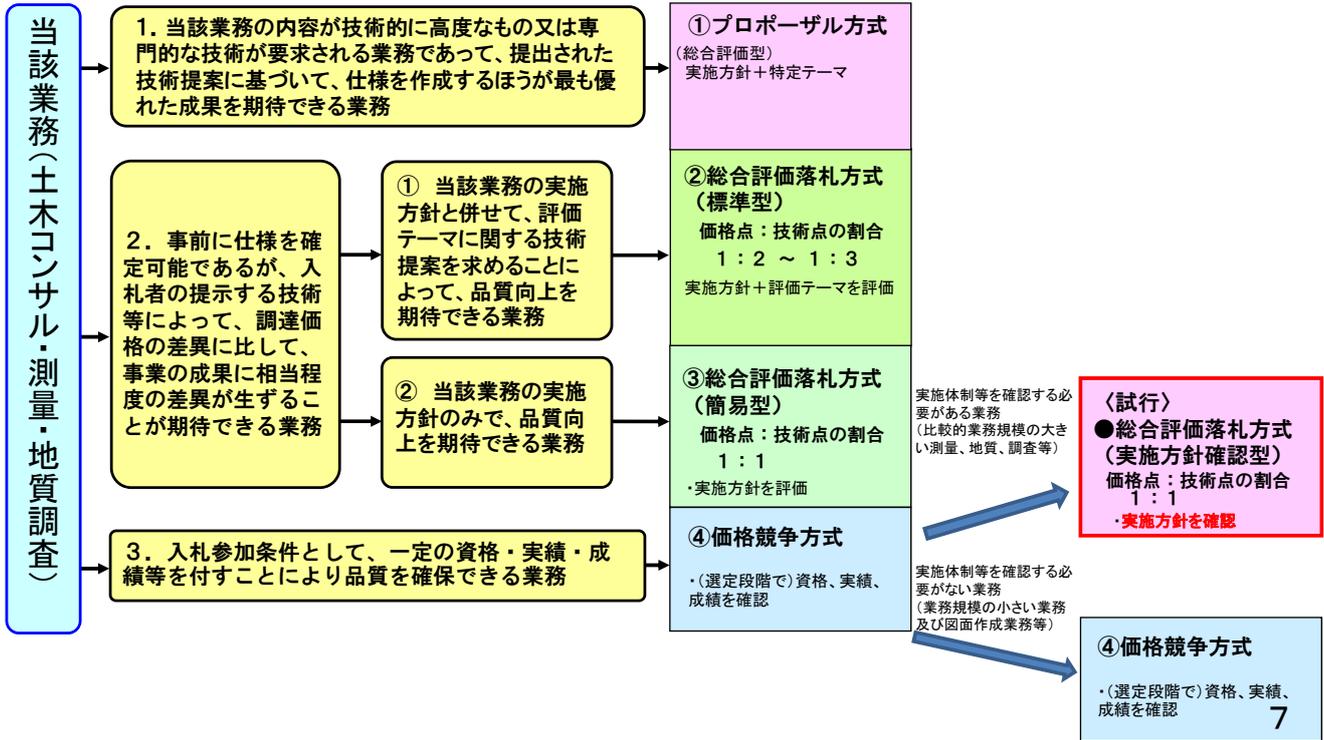
- 入札参加条件として、一定の資格・実績・成績等を付すことにより品質を確保できる価格競争入札方式の業務においても、低入札による品質の低下が懸念される。
- 価格競争入札方式においても、入札契約段階で業務執行技術力、工程管理能力、品質管理能力等について確認を行う必要がある。
- このことから、従前価格競争入札方式で行っていた業務についても、入札契約段階において実施方針等を確認する総合評価落札方式(実施方針確認型)を試行するものとする。

入札契約方式の選定の考え方(土木コン、測量、地質)

価格競争方式において低入札が頻発しており、入札参加条件として、一定の資格・実績・成績等を付すことにより品質確保をすることとしていたが、品質の低下が懸念されることから、試行的に実施方針等について確認し、品質の確保につとめるものである。

選定フロー

現行発注方式

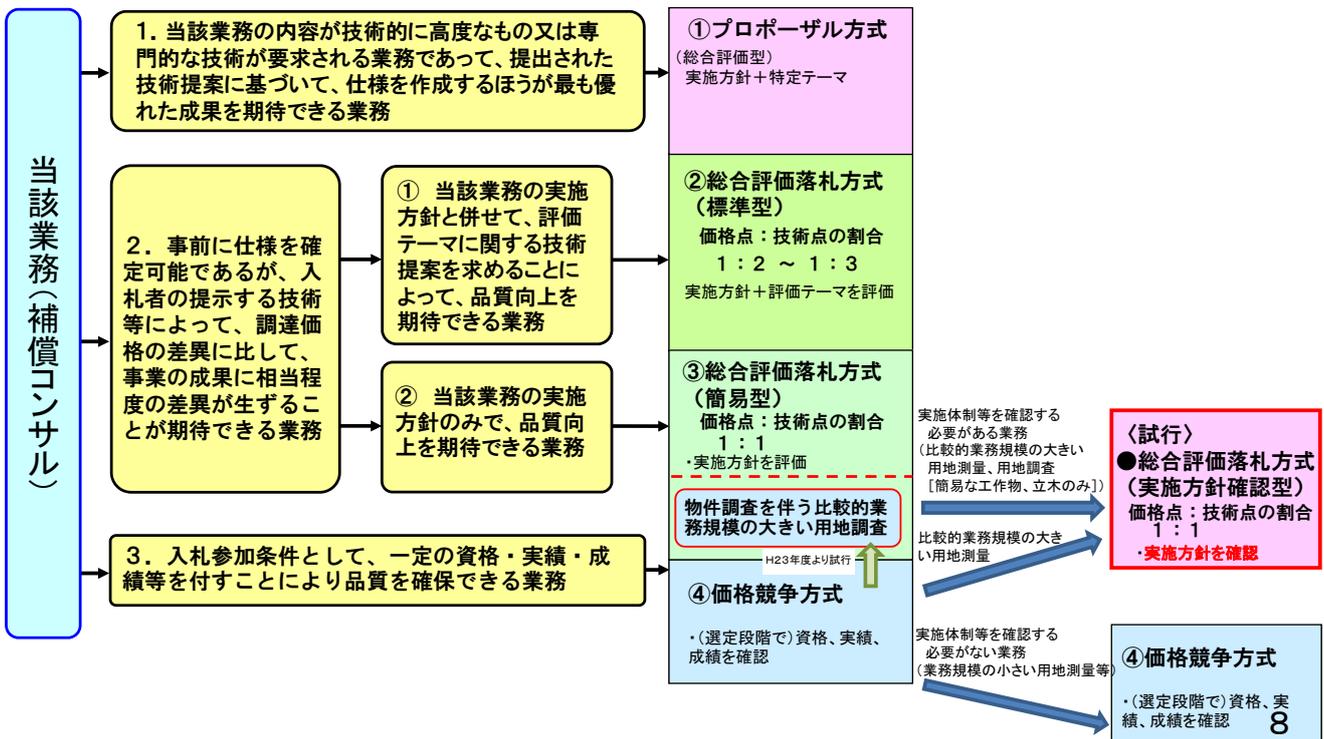


入札契約方式の選定の考え方(補償コン)

価格競争方式において低入札が頻発しており、入札参加条件として、一定の資格・実績・成績等を付すことにより品質確保をすることとしていたが、品質の低下が懸念されることから、試行的に実施方針等について確認し、品質の確保につとめるものである。

選定フロー

現行発注方式



総合評価落札方式(実施方針確認型)の試行について(案)

実施方針確認型の試行概要

- ・技術提案書については、簡易型の実施方針と同様に提出して頂く。記載内容については、有益な代替案、重要な指摘事項の記載は求めず、業務理解度、実施手順、工程表について、標準的な記載がなされているか確認を行う。評価テーマは求めない。
- ・技術点と価格点の割合は、簡易型と同様1:1とする。
- ・評価内容、配点ウェイトは基本的に簡易型と同様とする。

評価の簡素化

実施方針等の評価にあたっては、標準的な記載がなされていれば評価するものとし、満点又は0点の評価とする。

手続き期間の短縮

技術提案書の提出期限を参加表明書の提出期限に合わせ手続き期間の短縮を図る。

同一管理技術者の重複受注の抑制

同一管理技術者の重複受注を抑制するため、評価項目に、手持ち業務量を加え評価する。

地理的条件の評価

全ての業務において地理的条件の評価項目を必須とする。また、現場作業がある業務においては資格要件とする。

試行対象業務

- ・平成24年4月1日以降契約する業務から適用
- ・入札参加条件として、一定の資格・実績・成績等を付すことにより品質を確保できる業務のうち、実施方針等を確認する必要がある業務(測量、地質、調査、補償等)。

9

評価項目と配点ウェイト

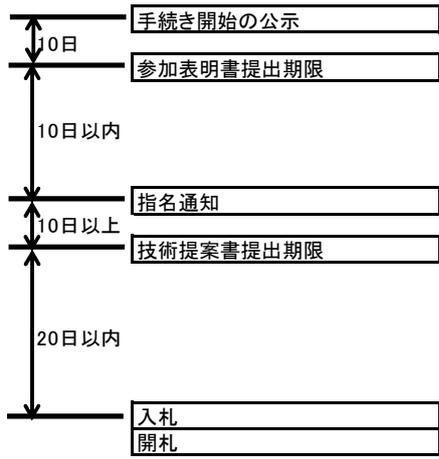
総合評価落札方式(実施方針確認型)の評価項目及び配点ウェイト

評価項目	詳細項目	評価の着目点	指名時	技術点算出 (照査技術者なし)	技術点算出 (照査技術者あり)		
企業の評価	資格・実績	資格要件	技術部門登録	3			
		業務経験	同種・類似業務の実績	6			
		事故及び不誠実な行為		-5			
	地域性	地理的条件		6			
		成績・表彰	技術力	業務成績評点	30		
	優良業務表彰の経験			5			
管理技術者の評価	資格・実績	資格要件	技術者資格	5	5	3	
		業務経験	同種・類似業務の実績	10	10	6	
	成績・表彰	技術力	業務成績評点		30	20	14
			優良業務表彰等の経験		5	5	3
	専任制		手持ち業務量	参加の適否	10	10	
照査技術者の評価	資格・実績	資格要件	技術者資格	参加の適否		2	
		業務経験	同種・類似業務の実績	参加の適否		4	
	成績・表彰	技術力	業務成績評点	参加の適否		8	
業務実施体制		業務実施体制の妥当性		参加の適否			
実施方針・実施フロー・工程表		業務理解度			30	30	
		実施手順			10	10	
		工程表			10	10	
配点の合計				100	100	100	

10

手続き期間の短縮について

総合評価落札方式(簡易型)

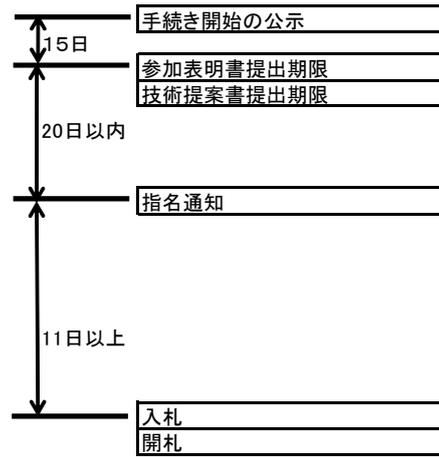


5日延期

10日延期

19日短縮

総合評価落札方式(実施方針確認型)



履行確実性評価

履行確実性評価

低入札調査

低入札調査

落札決定

落札決定